

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 岐阜県版サステナブル・ツーリズム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部
 観光文化スポーツ政策課
 サステナブル・ツーリズム推進室
 サステナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)
 E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 1,847 千円 (前年度予算額： 2,052 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 財 源
前年度	2,052	0	0	0	0	0	0	0	2,052
要求額	1,847	0	0	0	0	0	0	0	1,847
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から「選ばれる旅先」となるためには、サステナブル・ツーリズム(持続可能な観光)の推進が不可欠である。

そこで、サステナブル・ツーリズムに積極的に取り組む地域として、UN Tourism(世界観光機関)が推進するINSTO(the International Network of sustainable Tourism Observatory)に加入し、本県独自の指標に基づく取組を進めるとともに、県内各地で持続可能な観光地域づくりが進むよう、普及・啓発を図る。

(2) 事業内容

- ・地域関係者、府内関係部局との情報共有、意見交換
- ・INSTO、UN Tourism、APTEC、観光庁との情報共有、意見交換
- ・INSTO年次レポートの作成を通じたモニタリング 等

(3) 県負担・補助率の考え方

国の重要政策に位置付けられる「サステナブル・ツーリズムの推進」は、県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	904	職員出張旅費
委託料	330	委託費
役務費	50	先進地域の視察ガイド料
会議費	10	地域の意見交換会等
報償費	53	専門家謝金
負担金	500	APTEC負担金
合計	1,847	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

(2) 後年度の財政負担

県が率先して実施すべき事業であり、次年度以降も継続

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
■継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

世界から「選ばれる旅先」となるため、サステナブル・ツーリズムに積極的に取り組む地域としてアピールすることで、観光誘客及び観光消費額の増加につなげるとともに、県内各地での持続可能な観光地域づくりを促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		4,013億円	3,300億円	3,450億円	3,600億円	111.5%
②観光入込客数 (実数)		4,470万人	4,900万人	5,100万人	5,300万人	84.3%
③INSTOを通じた 情報発信件数(延べ)		3回	5回	7回	9回	33.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	UN Tourismや観光庁と協議しつつ、INSTO加入に向けた申請書、事前報告書の作成及び指標の設定を行った。あわせて、地域関係者や庁内関係部局との情報共有、合意形成を図った。
	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%
令和 5 年 度	INSTO加入に向けた申請書、事前報告書をINSTO事務局（UN Tourism）に提出し、INSTOに加入した。あわせて、地域関係者との意見交換や、指標のモニタリングを行った。
	指標① 目標：2,900億円 実績：3,044億円 達成率：105%
令和 6 年 度	定期的な指標のモニタリングを行って年次報告書を作成し、INSTO事務局に提出した。あわせて、地域関係者の会議で報告し、意見交換を行った。
	指標① 目標：3,100億円 実績：4,013億円 達成率：129.5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	世界中でSDGsへの関心が高まっており、本県が世界から「選ばれる旅先」となるためには、サステナブル・ツーリズムの推進は不可欠。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 3	UN TourismにINSTO申請書と事前報告書の提出を行い、INSTOに加入した。地域関係者との意見交換や指標のモニタリングを行った。
-----------	---

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	(一社)岐阜県観光連盟が実施するDMO会議の活用など、効率的に意見共有や合意形成を図っている。
-----------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

持続可能な観光地域づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

持続可能な観光地域づくりに向け、指標に基づくモニタリングを継続するとともに、現状分析・課題抽出・改善のP D C Aサイクルを回す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	